

能登半島復興祈念SUPレース

安全対策報告

令和6年9月1日、台風10号の接近によりコースを変更し龍屋の前にブイ設置で三角コース一周3kmを反時計回り2周で6kmとしました。

風は北東の風、龍屋前1~2m、沖合の突風は約5m。

オレンジ色印に2隻の船舶を配置。コース内船舶はマリン事業者、第2ターンブイ付近の船舶にはJSPA資格保持者を同乗させ緊急時に主催者の指示を待たずに選手リタイアの判断を委ねる。また、救助の訓練をしているためSUPよりも早い移動が可能な船舶で待機。



海に出る救助スタッフは携帯電話などの通信機器を持参。スタッフビブス着用。SUPでの待機スタッフは①コース付近の風下に待機。選手全員の通過を確認してから②コースの風下に移動。②コースでは、選手が沖に出過ぎないように、コース内側の待機。

事前会議で選手の技量やゼッケン番号をスタッフ間で共有。

子供、初心者向けに開催した2kmコースのレースは、第1ブイ、第2ブイを龍屋の近くに移動し小さな三角コースを作り、時計周りで一周。風の少ないエリアでの開催のため、船舶、SUPスタッフは見守り。

全員が海からあがったかの確認のため、帰着の記録を確実に行う。

次回、開催にあたり改善すべき事項

ライフジャケットの統一とライフジャケット着用を常識に

SUPを安全に楽しむために

ライフジャケット
フロート
携帯電話 (防水)

パドル
リーシュコード

風の影響による
遭難が多発しています!
穏やかな水面で
楽しみましょう!

(一社)日本SUPヨガ協会
理事長 田中 律子

安全推進団体が必要な知識・技能を身につけよう!

SUP安全推進宣言

私たちは、SUPの事故ゼロを目指し
必要な安全対策を実施しています。

SUP安全推進プロジェクト Since March 15th, 2022

安全推進団体：(一社)日本SUP推進委員会、日本SUP協会、(一社)日本SUPヨガ協会、(一社)日本スタンドアップパドルボード協会、
(五十音順) (一社)日本セーフティパドルリング協会、日本レクリエーションカヌー協会、Paddler Japan
関係府庁及び団体：海上保安庁、スポーツ庁、水産庁、国土交通省、(一社)日本海洋レジャー安全・協賛協会

○経験年数3年未満、風速5m/s以上、波高0.5m以上で遭難に至る可能性が高くなっています!



天気予報をチェックしよう。

○状況(季節や水温)に応じて、適切な装備を選びましょう。

SUPの基本4点セット

体に合ったサイズを選ぶ。チャック、バックル、ベルトをしっかり締めよう。周囲の船や物から見つけやすい目立つ色(黄、オレンジ等)を服用しよう。

用器への注意喚起手段

ライフジャケット
適切なサイズにしよう。濡れても使える緊急連絡手段

パドル
ボートと離れないための必需品

リーシュコード
携帯電話(防水)

体の保温・保護等

マリンシューズ
熱中症、紫外線等防止対策

ウェットスーツ

帽子
水分補給を忘れずに

サングラス
水筒

詳しくはコチラ
SUP Safety Guide

○インフレーター(膨張式)SUPボードの注意点

- ▶適正な空気圧にしましょう。
- ▶エア漏れがないかチェックしましょう。

※安全推進団体のHPIは、下記のQRコードから確認できます。



選手、スタッフ共に固形ベスト型で十分に浮力のあるライフジャケットの着用をお願いします。

龍屋はJSPA公認スクールで、SUP安全推進プロジェクトの推進団体に所属しています。

龍屋が主催するSUPでのイベントや活動の際は、スタッフが日頃から活動エリアの気象条件やこの地だから起こりうる事故の可能性を洗い出し徹底した注意喚起を行なっています。

普段SUPで活動されているエリアでは起こらないような事も場所が変われば起こる可能性があります。

参加する選手やスタッフの皆さんが、同じ安全意識を持てるように、まずはそれぞれのエリアでのルールを知って活動しましょう。

